滋建士様式第1号　　（表　面）

※受付印
※受付番号

二 級
木 造　建築士免許申請書

[記入注意]　数字は、算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けてください。二級または木造のいずれかを消してください。外国の建築士免許を受けた方は、「試験」の欄に、その免許の名称、免許者名および免許の年月日を記入してください。

私は、二級／木造 建築士の免許を受けたいので、本籍の記載のある住民票の写しを添え、申請します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

年　月　日

（宛先）　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

滋賀県指定登録機関
公益社団法人滋賀県建築士会会長　様

ふりがな 氏名		生年月日	昭和 平成　年　月　日生		写真貼付欄 注意 1　申請者本人のみ 2　6ヶ月以内に撮影したもの 3　正面、無帽、無背景 4　縦4.5㎝×横3.5㎝ ＊　写真の裏面に氏名を記入してから、のりでしっかりと貼り付けてください。 ＊　貼付した写真はカードに転写されます。
本籍		性別	男□　女□		
現住所	〒 電話				
試験	二級／木造 建築士の試験に合格した時期　平成／令和　年				
	合格証書日付	年　月　日	合格証書番号	第　号	

欠格事由

1　拘禁刑以上の刑に処せられたこと（刑法等の一部を改正する法律（令和４年法律第67号）による改正前の刑法（明治40年法律第45号）第13条に規定する禁錮以上の刑に処せられたことを含む。）がありますか。　ある□　ない□
　あるときはその罪および刑

　あるときはその刑の執行を終わり、または執行を受けることがなくなった日　年　月　日

2　建築士法の規定に違反して、または建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。　ある□　ない□
　あるときはその罪および刑

　あるときはその刑の執行を終わり、または執行を受けることがなくなった日　年　月　日

3　建築士法第９条第１項第４号または第10条第１項の規定により一級建築士、二級建築士または木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。　ある□　ない□
　あるときは、その日　年　月　日

4　建築士法第10条第１項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第９条第１項第１号の規定により一級建築士、二級建築士または木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。　ある□　ない□
　業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間　年　月　日から　年　月　日まで

5　精神の機能の障害により二級建築士または木造建築士の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断および意思疎通を適切に行うことができない状態ですか。　はい□　いいえ□

※　免許証明書を受領しました。
年　月　日　印

※登録番号		※登録年月日	年　月　日	※登録確認			

（裏　面）

振替払込請求書兼受領証　貼付欄

※貼付用の裏面全体に糊付けし、この枠内に原本を貼付してください。
※貼る前に必ずコピーをとり保管しておいてください。